

平成28年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 子ども地域教育コース

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読み、あとの各問に答えなさい。

非公開

非公開

(出典：増田修治, 「教育の現状分析と 今ある姿から出発する視点を—臨床教育学的視点の必要性—」『作文と教育』No. 811, 本の泉社, 2014年3月, pp. 5-7, 抜粋・一部改変)

問1 下線部①の「空虚感が広がっていく」とは、どのようなことか。本文中の言葉を適宜用いながら、80字以上、100字以内で説明しなさい。

問2 下線部②で「すると、どの子も納得します。」と筆者は書いていますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えを400字以上、500字以内で述べなさい。

問3 下線部③の「見栄えの良い行事を目指すのではなく、子どもの要求や思いを実現していくこと」という筆者の主張について、あなたはどのように考えますか。あなた自身のこれまでの経験・体験を踏まえながら、「子どもの要求や思いを実現していくこと」に対するあなたの考えを400字以上、500字以内で論じなさい。

平成28年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 子ども地域教育コース

出題の意図

1. 本コースは、子どもの成長・発達を、学校だけでなく地域的な視点を持ち、地域と学校との連携を視野にもつ人材養成を主眼におくアドミッションポリシーを掲げている。この問題を通して、それらに関する意欲・関心・適性をみる。
2. 本問題は、荒れる学級・学校に求められる授業・取り組みとは何かを考えていくきっかけとして、学校行事における子どもの姿から述べられている論考である。受験生には、学校教育の原体験を振り返りながら、子どもと教師を取り巻く教育の現状について相対化して考えることができるかどうかを問うものである。